



美濃加茂^新24景

問みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム ☎28-1110

09 米田富士から見下ろす

米田富士として知られる山(愛宕山^{あたごやま})は、標高が261メートルあります。下米田町や川辺町地内にあった旧上米田村から「米田」を冠した山の名は、この地域の人々から常に意識されてきたのでしょうか。

山上には、戦国時代に城(米田城跡)が築かれました。付近には、牛ヶ鼻砦跡(森山町・古井の天狗山)や馬串砦跡(下米田町今・馬串山)があり、まるで互いを探るように近接した位置関係は、往時の緊張感を想像させます。

さて、明治時代初期に、この下米田で子ども時代を過ごした津田^{つくだ}左右吉^{さうきち}博士は、「アタゴ山に上ったことがある。(略)ずっと先きのほうは、ヒダ川がキノ川と出会ふカハヒのあたりまで、見わたされた」と、眺望を回顧しています。また、古地図や古写真を見ると、人家や田畑、それを行き交う道が、飛騨川の川岸付近や山裾辺りに長く延びている様子が分かります。

そんなふうに米田富士から見下ろしてみると、飛騨川とその両岸に沿って細長く段上に連なる平野、そこに暮らす私たちの町が、「時」と「人」の織りなす風景として見えてきます。